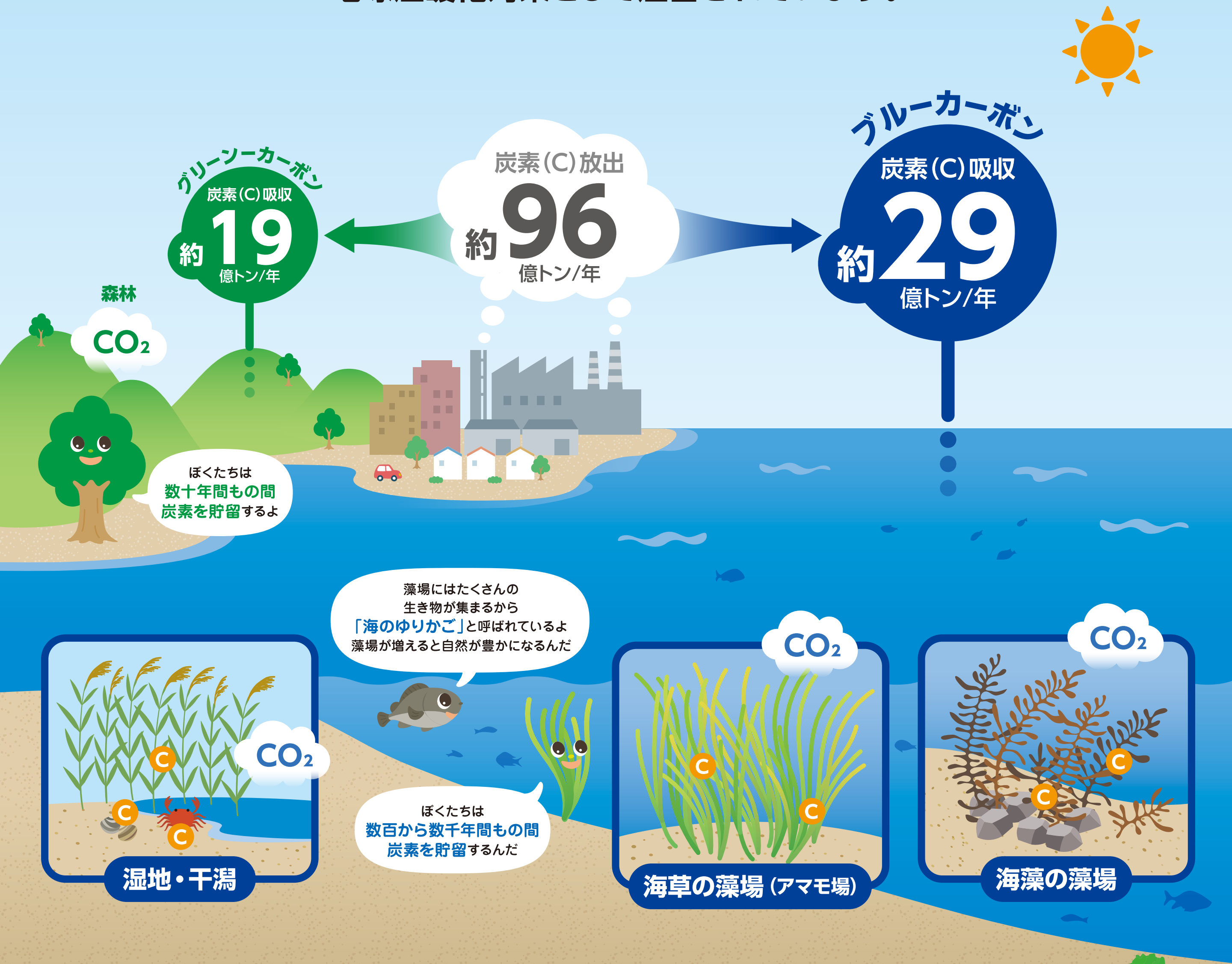


海が地球を守る

# ブルーカーボンってなに？

ブルーカーボンとは、<sup>うみくさ</sup>海草(アマモなど)や<sup>うみも</sup>海藻(ワカメ・昆布など)植物プランクトンなどが海中に取り込む炭素のことです。  
陸上の森林等(グリーンカーボン)より吸収量が多いといわれており、地球温暖化対策として注目されています。



## 似島で、藻場造成・保全プロジェクトに取り組んでいます!!

広島市漁業協同組合と協働し、南区似島町(二階地区・長浜地区)において、地球温暖化対策やアマモ場等の保全・再生・創出を目的に、「似島二階及び長浜地区藻場造成・保全プロジェクト」を行っています。



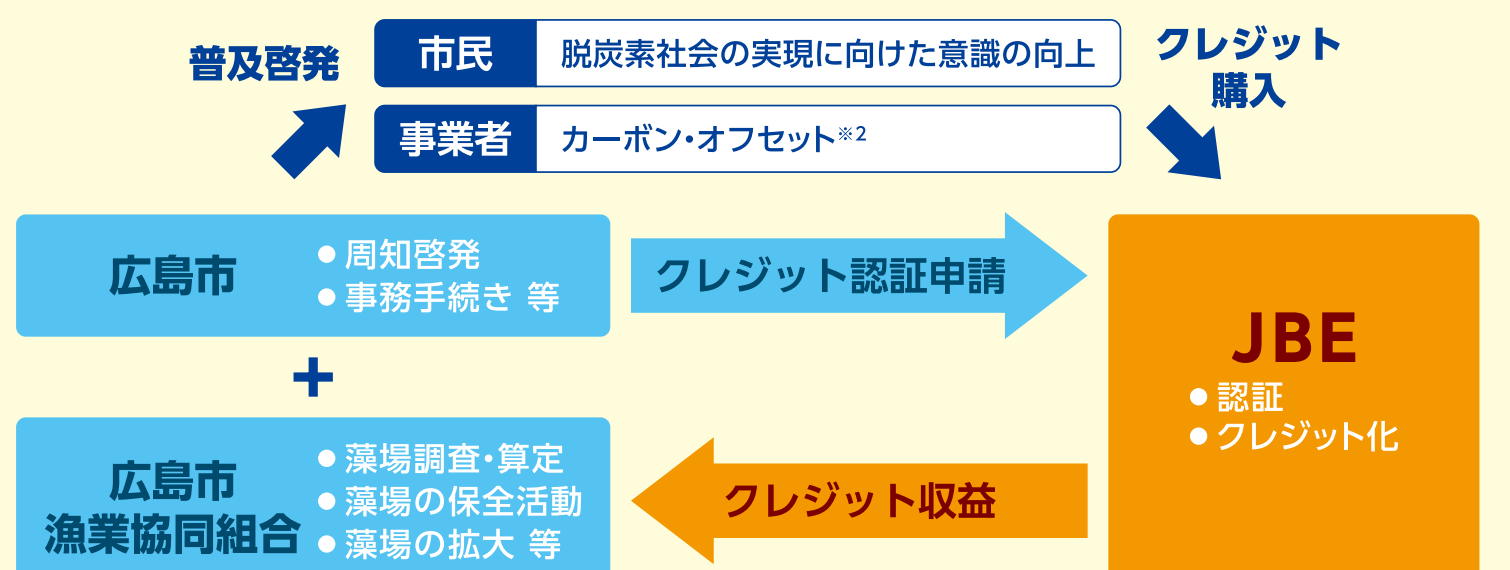
### 似島二階及び長浜地区の藻場造成・保全プロジェクト

- アマモ場の造成や藻場ブロックの設置
- アマモ場を漁業禁止区域に指定
- カキの水質浄化機能によるアマモ場の維持・拡大



### 本プロジェクトにおける地域内循環モデル

Jブルークレジット<sup>※1</sup>について、特に広島市内で事業活動を行う事業者への購入を促進し、地域内での循環モデルの構築を進めています。



※1 Jブルークレジット<sup>®</sup>とは ブルーカーボンを定量化して取引可能なクレジットにしたもの。また、藻場の保全活動などの実施者により創出された二酸化炭素吸収量をクレジットとして認証し、温室効果ガス削減を図る企業・団体などとクレジット取引を行う制度を、Jブルークレジット<sup>®</sup>制度という。  
※2 カーボン・オフセットとは 日常生活や経済活動において避けることができない二酸化炭素などの温室効果ガスの排出について、まず、できるだけ排出量が減るよう削減努力を行い、どうしても排出される温室効果ガスについては、排出量に見合った温室効果ガスの削減活動に投資することなどにより埋め合わせるという考え方。